

令和 6 年 5 月 31 日現在

機関番号：12601

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2020～2023

課題番号：20K23188

研究課題名（和文）再入院を予防する新たな移行期支援モデル（PHR-TC）の開発：現状把握と効果検討

研究課題名（英文）Development of a new transitional support model to prevent rehospitalization (PHR-TC): current status and effectiveness study

研究代表者

角川 由香 (Yuka, Sumikawa)

東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・助教

研究者番号：70884550

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：入退院など療養場所の変化は心身両側面に大きな負担をもたらすため、地域と病院が協働する移行期支援が重要である。一方、COVID-19蔓延の経験を経て、病院における移行期支援はその方法の再考を迫られた。具体的にはICT等新たなツールを導入した移行期支援の模索である。新たな移行期支援の導入には課題もあるが、退院直後の再入院予防を見越した家族等への移行期支援（退院指導を含む）の充実化、関係多職種とのリアルタイム情報共有など、移行期支援のDX化において引き続き検討すべき知見も得られている。引き続き、退院直後の再入院等、有害事象予防を目的とした移行期支援のDX化を含むシステム構築を検討していく必要がある。

研究成果の学術的意義や社会的意義

COVID-19蔓延の影響を受け、当初予定していた移行期支援のモデル構築ならびに効果検証を目的とした介入研究の実施には至らなかった。しかし、全国の急性期病院における移行期支援の現状について調査を継続し、これまでほとんどDX化が進んでいなかった移行期支援の領域における、ICTツールを用いた支援の具体例や課題が、一部、明らかになった。このことは、再度訪れるかもしれない新興感染症等を見据えた新たな移行期支援、再入院をどのように予防していくかの手法をDX化していくうえで重要な知見になると考える。現在、これらの知見を国際誌へ投稿予定である。

研究成果の概要（英文）：Changes in care locations, like hospital admissions and discharges, impose significant burdens. Thus, transitional care, a collaboration between the community and hospitals, is vital. The COVID-19 pandemic had prompted a reconsideration of transitional care methods in hospitals. Specifically, hospitals were exploring transitional care with new tools like ICT. Despite challenges in introducing new transitional care, we've gained insights into the digital transformation (DX) of transitional care in this study. These include enhancing support for families anticipating post-discharge rehospitalization and real-time information sharing with related teams. We must consider a system that includes transitional care's DX to prevent harmful events, such as immediate post-discharge rehospitalization.

研究分野：在宅ケア

キーワード：移行期支援 在宅ケア

様式 C-19、F-19-1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

患者にとって入退院をはじめとする療養場所の変化は心身両側面に大きな負担をもたらす (Forster ら, 2003, 2004. Boyd ら, 2008. Wilson ら, 2012)。さらに、退院直後の再入院は患者の機能低下や死亡、余分な医療費増大につながる予防すべき重大な事象である (Buurman ら, 2011. Gill ら, 2010. Stephen ら, 2009)。しかし、本邦の医療・福祉制度は患者に対し適切な時期・適切な場所への移動を求めており在院日数の短縮は顕著であるほか、医療・介護ケアニーズを有し退院後も地域で継続したケアを要する患者は増加傾向にある。そのため、患者が療養場所を移動する前後の時期、つまり移行期において地域と病院が協働し、患者を支援していくことが重要である。

国内では、2008 年の診療報酬改定で退院困難な要因を有した後期高齢者への計画的支援が評価されて以降、10 年以上が経過した。この間、支援対象の範囲拡大、地域医療・介護職との連携評価、患家訪問の評価など、制度上の改革を経ながら支援体制は広がったが (永田ら, 2011)、その効果の検討はほとんど行われてこなかった。数少ない報告のうち、大規模データを利用した効果検討として、東京都健康長寿医療センター研究所の研究グループが、急性期病院でリハビリテーションを受けた後に自宅などへ退院した 75 歳以上約 3 万人のレセプト情報の分析しており、医療保険制度で提供された入院中の退院支援サービスは、退院直後の再入院に対して抑制効果を認めないことを指摘している (Mitsutake ら, 2020)。

移行期支援は、本来、退院後の生活再開円滑化を目指すものであり、入院中の支援に加え、退院後の十分な継続ケア・フォローアップが望まれる。そこで本研究では、退院直後の再入院を予防することを主眼においた、入院から退院直後までを包含する移行期支援プログラムの開発を目指し、その基礎資料を構築することを主眼におくこととした。

2. 研究の目的

退院直後の患者の再入院予防を目指した、移行期支援プログラムの検討および効果検証を目的とする。さらに、国内で重点的に実践するべき移行期支援内容を明らかにする。

3. 研究の方法

研究開始当初の背景および目的に沿って研究を実施する予定であったが、本研究の助成をお受けした初年度から最終年度の 5 月に至るまで、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を大きく受けた。対象施設としていた急性期病院では、特に厳しい面会制限が設けられ、従来、病院が行っていた移行期支援の体制や内容に大きな変化が生じた。そのため、当初予定していた新たな移行期支援モデルの構築と介入検証については、断念せざるを得なかったものの、退院直後の再入院予防を主眼においた新たな移行期支援モデル構築を見据え、その基礎資料となりうる調査を遂行した。研究の内容および方法は以下である。

1) 新型コロナウイルス感染症パンデミック禍における国内外の移行期支援に関する実態把握

移行期支援の実施内容および再入院予防効果に関する国内外の取り組みについて、PubMed, Web of Science、商用雑誌や各国政府ならびに病院等が公開している移行期支援の最新の取り組み概要について、とりまとめた。

2) 新型コロナウイルス感染症パンデミック禍における移行期支援の新たな取り組みの可視化

研究 1) の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症パンデミック禍において、各病院ではさまざまな課題に直面しながらも、移行期支援に関してさまざまな取り組みや工夫をしている可

能性が示唆された。それら取り組みや工夫を明確にし、今後の移行期支援プログラムの参考とするために、インタビュー調査を行った。対象者は、急性期病院で地域連携部署等に専従し移行期支援に携わっている看護職である。インタビューガイドを用いた半構成面接調査を行い、新型コロナウイルス感染症パンデミック前後での移行期支援の取り組みの変化と支援の工夫について聞き取りを行った。各インタビューの録音データは全て逐語録にし「新型コロナウイルス感染症パンデミック前後での移行期支援の取り組み」という視点で内容を分析しコード化した。作成したコードは類似性と相違性を検討しながら分類し、サブカテゴリおよびカテゴリを作成した。

なお、本調査実施にあたっては、参加者に対し研究説明書を用い、研究目的、方法、データの取り扱い、個人情報保護、研究結果の公表、研究参加・撤回の自由について口頭及び書面で説明し、文書で同意を得た。本調査は、東京大学大学院医学系研究科研究倫理委員会の承認を得て実施したものである（2021168NI-(1)）。

4. 研究成果

1) 新型コロナウイルス感染症パンデミック禍における国内外の移行期支援に関する実態把握

2020年7月現在の情報として、新型コロナウイルス感染症パンデミック禍の移行期支援に関連する4本の学術論文および24本のガイドライン等を検討した（表1）。

検討の結果、学術論文では、新型コロナウイルス感染症をはじめとするグローバルなパンデミック禍に療養場所を移行する際の支援をマネジメントする専門職種の必要性が指摘されていた。具体的には、テレヘルス、テレケースマネジメント、医療やケアに関する事前指示確認の重要性、移行期支援の拡充などについてである。24本におよぶガイドライン等は、WHOをはじめ、それぞれの地域や国の公的機関、教育機関、または非営利組織によって運営・公表されていた。ガイドライン等に示された情報としては、新型コロナウイルス感染症パンデミック禍において①病院から患者への移動を迅速に行うための戦略、②（病院ではなく）家庭や施設などでのケアを拡充させることなどがまとめられていた。しかし、各病院等で移行期支援にあたる専門職がどのような工夫や対応をすべきなのか、といった具体的内容の言及はみられなかった。

結論として、新型コロナウイルス感染症をはじめ、今後、起こりうる新興感染症に備え、新たな移行期支援の体制や具体的支援の内容について可視化し、その内容を今後検討する移行期支援プログラムに反映させる必要性が見出された。

（表1）検討した文献等の一覧と概要

	タイトル	著者	書誌/URL	概要
1	学術論文	Meeting the Transitional Care Needs of Older Adults with COVID-19	Naylor, M. D., Hirschman, K. B., & McCauley, K. (2020). Journal of Aging & Social Policy, 32(4-5), 387-395.	COVID-19に罹患した高齢者の移行期ケアニーズに応えるための戦略として、これまで提唱されていた移行期ケアプログラムを再評価。また、パンデミック禍、テクノロジーやオンラインプラットフォームの導入、医療・ケアに関する事前指示の重要性などについても言及
2	学術論文	Essential case management practices amidst the novel coronavirus disease 2019 (COVID-19) crisis: part 0: tele-case management, surge capacity, discharge planning, and transitions of care.	Tahan, H. M. (2020). Professional Case Management, 25(5), 248-266.	パンデミック禍の急性期医療の現場におけるヘルスケア・福祉サービスについて、最も重要なこととして、このパンデミックは、タイムリーな緩和ケアと終末期ケアの提供に特別な注意を払う必要がある。
3	学術論文	The Implications of covid-19 for the Mental Health Care of Older Adults: Insights from Emergency Department Social Workers.	Xiang, X., Ning, Y., & Kayser, J. (2020) Journal of gerontological social work, 63(6-7), 662-664.	COVID-19感染拡大に伴う、高齢患者の移行期ケアがうまくいっておらず、そのことが原因で高齢患者だけでなく家族介護者にも悪影響を与える可能性がある。また面会制限をはじめ隔離を続けることによって、精神的ケアを必要とする高齢者が多数発生する可能性が高い
4	学術論文	Psychiatric burdens or stress during hospitalization and concerns after discharge in patients with severe acute respiratory syndrome coronavirus-2 isolated in a tertiary care hospital	Morioka, S., Saito, S., Hayakawa, K., Takasaki, J., Suzuki, T., Ide, S., ... & Ohmagari, N. (2020). Psychiatry research, 289, 113040.	2020年1月から3月までに入院したCOVID-19患者を対象とし、入院中の精神的負担と退院後の懸念に関してインタビュー調査を実施。入院中に会社等から偏見・差別により解雇されたり、疾患の再燃や家族への感染を懸念し自己隔離を継続する患者がいる。退院後、COVID-19患者が長期にわたり社会的に孤立する可能性が示唆された。今後はメンタルサポートなどの体制整備が必要である。
5	Web	7 lessons on discharge planning during Covid-19 from UW Medicine	Carolyn Buys https://www.advisory.com/daily-briefing/2020/04/03/uw-medicine (2020.7.31アクセス)	パンデミック禍、急性期病院は療養施設とも積極的に感染予防対策を検討するべきである。また、療養施設等でブレイクアウトが発生した場合の「drop team」（病院から専門チームが施設に向いてケアをする）の検討もなされる
6	Web	Enhanced discharge planning during covid-19 crisis	Alliance for Healthier Communities https://www.allianceon.org/news/Enhanced-discharge-planning-during-COVID-19-crisis (2020.7.31アクセス)	矯正施設から入院した患者など社会的弱者に対する退院支援計画が不十分になっている
7	Web	COVID-19 Guidance for Healthcare Facilities for Discharge of Residents	ミシガン州政府 https://www.michigan.gov/documents/coronavirus/Guidance_for_Health_Care_Facilities_for_Discharge_of_COVID_FINAL_684358_7.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19が疑われる、または確認された患者を退院させるための病院、介護施設をはじめとする医療施設のためのガイドライン

(続き)

		タイトル	著者	書誌/URL	概要
8	Web	Hospital discharge guidelines for suspect or confirmed covid-19 patient	西オーストラリア政府	https://www.health.wa.gov.au/-/media/Files/Corporate/general%20documents/infectious%20diseases/PDF/Coronavirus/COVID19-hospital-discharge-guidelines-for-suspect-or-confirmed-2020-04-19.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19退院患者の退院計画に必要とされる要件について
9	Web	covid-19 Hospital Discharge Service Requirements (Wales)	イギリスウェールズ州政府	https://gov.wales/sites/default/files/publications/2020-04/covid-19-hospital-discharge-service-requirements.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19下における退院支援・計画について
10	Web	NHS covid-19 Hospital Discharge Service Requirements	NHS	https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/880288/COVID-19_hospital_discharge_service_requirements.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19下における退院支援・計画について
11	Web	UAMS Health Discharge planning check list	アメリカアーカンソー州UAMS medical center	https://uamshospital.com/patients-and-guests/patient-support/hospital-admission/leaving-the-hospital/discharge-planning-check-list/ (2020.7.31アクセス)	COVID-19サバイバーで自宅に帰る患者向けのチェックリスト
12	Web	Discharge Planning and Community Follow-up of Babies born to COVID Positive/Probable Mothers	アメリカアルバータヘルスサービス	https://www.albertahealthservices.ca/assets/info/ppih/if-ppih-covid-19-discharge-planning-community-follow-up-covid-positive-mother.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19陽性あるいは疑いのある母親と新生児のための退院支援およびフォローアップ計画について
13	Web	covid-19 Discharge Planning Check List	Penn Medicine	https://www.lancastergeneralhealth.org/health-care-professionals/educational-resources-for-covid-19-management%20COVID-19%20Discharge%20Planning%19Checklist (2020.7.31アクセス)	外来入院患者向けのチェックリスト、COVID-19患者の栄養について、ACPについて
14	Web	After-care needs of inpatients recovering from covid-19	NHS	https://www.england.nhs.uk/coronavirus/wp-content/uploads/sites/52/2020/06/CO388-after-care-needs-of-inpatients-recovering-from-covid-19-5-june-2020-1.pdf (2020.7.31アクセス)	covid-19退院患者の退院後のケアの必要性についてなど
15	Web	Discharge planning covid-19 Screen	Quality improvement organizations	https://www.alliantquality.org/wp-content/uploads/2020/05/COVID-19-Discharge-Screening-Tool_1250W-AHSQI-N-QIO-TOINH-20-210_508.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19患者の退院支援スクリーニングチェックリスト
16	Web	Moving between hospital and home, including care homes	NICE National institute for health and care excellence	https://www.nice.org.uk/about/nice-communities/social-care/quick-guides/moving-between-hospital-and-home-including-care-homes (2020.7.31アクセス)	ケアハウスを含む病院→自宅間の移行時の、介護施設やケアマネのためのクイックガイド
17	Web	Protecting Decarcerated Populations In The Era of covid-19: Priorities For Emergency Discharge Planning	Benjamin A. Howell Haiyan Ramirez Batlle	https://www.healthaffairs.org/doi/10.1377/hlthaff.20200406.581615/full/ (2020.7.31アクセス)	(刑務所などに) 収容されている人々のCOVID-19退院準備の優先準備事項について
18	Web	軽症の新型コロナウイルス (COVID-19) 患者の在宅ケアと接触者の管理に関するガイダンス (3月16日更新版)	WHO/日本語	https://extranet.who.int/kobe_centre/sites/default/files/pdf/WHO-nCoV-IPC-HomeCare-2020.3-jpn.pdf (2020.7.31アクセス)	軽症 (疑い) 患者の在宅ケアについて
19	Web	Rapid hospital readiness checklist: Interim Guidance(patient management)	WHO	https://www.who.int/publications/item/WHO-2019-nCoV-hospital-readiness-checklist-2020.1 (2020.7.31アクセス)	病院管理者向け/COVID-19患者対応に関する病院チェックリスト。「ケアの継続性」「医療従事者のメンタルヘルス対応」など
20	Web	COVID-19 Tools for Patients and Providers/covid-19 Health management	NOTCC (National Transitions of Care Coalition)	https://static1.squarespace.com/static/5d48b6eb75823b00016db708/f/5e8f7b3a01e4727927c78c/1586461498705/Taking+Care+of+COVID-19+Concerns+%284%29.pdf (2020.7.31アクセス)	COVID-19患者向けのヘルスケアチェックリスト
21	Web	Ending Home Isolation	CDC:COVID-19_Healthcare workers向けサイト	https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/hcp/index.html (2020.7.31アクセス)	医療提供者および公衆衛生関係者で、医療現場にいない隔離下でコロナウイルス疾患2019 (COVID-19) の人を管理している専門職等の対応について (自宅、ホテルや家の一室、集団隔離施設など)
22	Web	Care for Patients at Home			コロナウイルスで入院を必要としない人の在宅ケア実施のためのガイダンス2019
23	Web	Discharge COVID-19 Patients			感染予防措置が必要な状態で退院した場合の対応について
24	Web	Using Telehealth Services: COVID-19			COVID-19パンデミック中およびそれ以降に、virtualケアを提供するためのシステム、遠隔医療サービスの展望と考慮すべきポイントについて
25	Web	Non- COVID-19 Care Framework			COVID-19パンデミック時にCOVID-19以外の医療を提供するための枠組みを持つ医療システムについて
26	Web	Coronavirus (covid-19): adult social care guidance	Department of Health and Social Care and Public Health England	https://www.gov.uk/government/collections/coronavirus-covid-19-social-care-guidance (2020.7.31アクセス)	COVID-19感染拡大に対する健康福祉部門の対応に関する情報
27	Web	Coronavirus (covid-19): hospital discharge service requirements	Department of Health and Social Care and Public Health England	https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-hospital-discharge-service-requirements (2020.7.31アクセス)	コロナウイルスの状況下での退院の取り決めやコミュニティ支援の提供を、医療・介護システムやプロバイダーがどのように変更すべきか
28	Web	COVID-19: guidance for stepdown of infection control precautions within hospitals and discharging covid-19 patients from hospital to home settings	Department of Health and Social Care and Public Health England	https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-guidance-for-stepdown-of-infection-control-precautions-within-hospitals-and-discharging-covid-19-patients-from-hospital-to-home-settings (2020.7.31アクセス)	感染管理における病院でのステップダウンや自宅退院のための適切な感染予防と管理 (IPC) の注意事項に関するアドバイス

2) 新型コロナウイルス感染症パンデミック禍における移行期支援の新たな取り組みの可視化
 リクルートの結果、地域連携部署等に所属する看護職 12 名が研究対象となった。研究対象者の属性を (表 2) に示す。いずれの対象者も、看護師経験 10 年以上の熟達者であり、訪問看護、在宅看護、地域看護などに関連した専門・認定資格を有する者が半数を占めた。
 分析の結果、新型コロナウイルス感染症パンデミック前後での移行期支援の取り組みの変化と支援の工夫として、<パンデミック禍前のシステムと人脈を非対面形式に組み替える>、<新たな ICT ツールを移行期支援に取り込む>、<非対面だからこそ関係職種間の情報共有を頻回かつ詳細に行う>、<患者の退院に向けてこれまでの連携範囲を超えて他組織・他職種と手を組む>の 4 つのカテゴリと、それぞれから 16 のサブカテゴリを抽出した。

3) 新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後の移行期支援の状況について

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し、約 1 年が経過し徐々にではあるが、入院患者の面会制限や、地域ケア提供者の病院への出入り等の制限が緩やかになりつつある。パンデミック以前より、移行期支援の現場では、患者・家族との十分な話し合い・意思決定に基づいた療養

(表2) 研究対象者の属性

	保有資格	個人特性			病院特性	
		看護師 経験年数	年代	性別	病床数	平均在院 日数(日) ¹⁾
1	看護師、CM ²⁾	20年	40代	女性	500床未満	11.0
2	看護師	33年	50代	女性	500床未満	11.0
3	看護師、CM、 在宅看護CNS ³⁾	35年	50代	女性	1000床以上	10.0
4	看護師、保健師	40年	60代	女性	500床未満	18.4
5	看護師	33年	50代	女性	500-999床	8.2
6	看護師	19年	40代	女性	500-999床	11.5
7	看護師	24年	50代	女性	500-999床	11.5
8	看護師、保健師、CM、 訪問看護CN ⁴⁾ 、看護管理CN ⁴⁾	30年	50代	女性	500-999床	11.7
9	看護師	15年	30代	女性	500床未満	12.1
10	看護師、保健師、地域看護CNS ³⁾	33年	50代	女性	1000床以上	12.3
11	看護師、在宅看護CNS ³⁾	18年	30代	女性	500-999床	15.4
12	看護師、がん看護CNS ³⁾	28年	40代	女性	500床未満	9.2

1) 調査日直近のデータ、2) CM: 在宅介護支援専門員、3) CNS: 専門看護師、4) CN: 認定看護師

での SMS の運用、画像や動画を用いた退院指導の実施、指導内容の引き継ぎなど多くのストラテジーが導入されたことは評価すべきであり、今後の移行期支援プログラムにも反映させることが重要である。診療報酬算定も、オンラインの活用を可能にする一助となっている。一方、直近で行ったヒアリングでは、移行期支援に携わる看護職より、パンデミック中など感染症対策を優先するにはオンラインや SNS、動画等での情報共有は非常に便利だが、平時かつ対面調整が可能であれば対面での引き継ぎや情報共有が望まれる、との意見も聞かれた。今後は、新型コロナウイルス感染症パンデミック禍で得たこれらの知見をいかしつつも、ICT ツールの利用が適している患者像、場面などを類型化し、ケースごとに最適な移行期支援方法を探っていく必要がある。

<引用文献>

- Boyd, C. M., Landefeld, C. S., Counsell, S. R., Palmer, R. M., et al., (2008). Recovery of activities of daily living in older adults after hospitalization for acute medical illness. *Journal of the American Geriatrics Society*, 56(12), 2171-2179.
- Buerman, B. M., Hoogerduijn, J. G., de Haan, R. J., Abu-Hanna, A., Lagaay, A. M., Verhaar, H. J., & de Rooij, S. E. (2011). Geriatric conditions in acutely hospitalized older patients: prevalence and one-year survival and functional decline. *PloS one*, 6(11), e26951.
- Forster, A. J., Murff, H. J., Peterson, J. F., Gandhi, T. K., & Bates, D. W. (2003). The incidence and severity of adverse events affecting patients after discharge from the hospital. *Annals of internal medicine*, 138(3), 161-167.
- Forster, A. J., Clark, H. D., Menard, A., Dupuis, N., Chemish, R., Chandok, N., & van Walraven, C. (2004). Adverse events among medical patients after discharge from hospital. *Cmaj*, 170(3), 345-349.
- Gill, T. M., Allore, H. G., Gahbauer, E. A., & Murphy, T. E. (2010). Change in disability after hospitalization or restricted activity in older persons. *Jama*, 304(17), 1919-1928.
- Jencks, S. F., Williams, M. V., & Coleman, E. A. (2009). Rehospitalizations among patients in the Medicare fee-for-service program. *New England Journal of Medicine*, 360(14), 1418-1428.
- Mitsutake, S., Ishizaki, T., Tsuchiya-Ito, R., et al., (2020). Associations of hospital discharge services with potentially avoidable readmissions within 30 days among older adults after rehabilitation in acute care hospitals in Tokyo, Japan. *Archives of physical medicine and rehabilitation*, 101(5), 832-840.
- 永田智子, 戸村ひかり, 村嶋幸代 (2011) 全国的一般病院における退院支援体制の現状 病院の属性および退院支援期間の報酬算定状況との関連 日本医療・病院管理学会誌(1882-594X)48 巻Suppl. Page99
- Wilson, R. S., Hebert, L. E., Scherr, P. A., Dong, X., Leurgens, S. E., & Evans, D. A. (2012). Cognitive decline after hospitalization in a community population of older persons. *Neurology*, 78(13), 950-956.

の実現を支援すると同時に、必要時、地域ケア提供者との十分な情報共有を行うことを重要視してきた。そして、これらの支援は直接「顔と顔を合わせて」対面で話し合い、情報共有を行うことを「是」としてきた。そのため、今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、これら移行期支援の現場が重要視してきた「対面型サービス」の前提をゆるがす事態を引き起こした。

zoom 等オンラインシステムを利用した面談の実施、個人情報保護したうえ

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 角川由香、成瀬昂、山本則子	4. 巻 10(2)
2. 論文標題 急性期病院の退院支援看護師が実践している高齢患者事例に対する退院直後の移行期支援	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本在宅看護学会誌	6. 最初と最後の頁 8-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sumikawa Y, Yamamoto-Mitani N.	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Transitional care during COVID-19 pandemic in Japan: Calls for new strategies to integrate traditional approaches with information and communication technologies.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BioScience Trends	6. 最初と最後の頁 55-57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5582/bst.2021.01056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 角川由香、成瀬昂、山本則子
2. 発表標題 急性期病院の退院支援看護師が実践している退院直後の移行期支援内容について
3. 学会等名 日本看護科学学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 角川由香、山本則子
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症禍での移行期支援の新たな取り組みに関する質的研究
3. 学会等名 日本看護科学学会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------